

平成20年度中筋小学校教育経営計画案

1 校訓

「強く、やさしく」

2 学校教育目標

子どもの学習力・体力・感受力・耐力・実践力を高め、一人ひとりが輝く教育を創造する

\* その際に大切にしたいこと

体験学習や繰り返し学習、異年齢集団の活動や本とふれ合う活動などの充実

はぐくむ子ども像：「元輝な子」

すすんで学び、考える子 自他を思いやり、大切にする子 ねばり強くチャレンジし、夢を拓く子

3 教育方針

学校教育目標の実現にむけ、教育の継承と改善を追求し、協働性・系統性を高めて新たな伝統を創造する

4 教育経営の方法（「知恵と汗を共有し、元輝な学舎づくりを推進しよう」）

(1) 組織態勢について（「中筋小でよかった」集団に）

教育活動の状況を一層把握するとともに、教育活動充実のため、積極的な意見・アイデア交換を行う

「支えあい、学びあう」集団となり、お互いの経験や知恵に学び合い、共有する

(2) 教育方法について（「より必要なものからかえる」教育方法に）

教科指導などの教育内容の一層の重点化、6か年の枠組みで内容の系統化・体系化を図る

異学年・学級や幼稚園・地域交流の場を適切に設けて、学習への子どもの充実感、自己効力感・自己効用感などの向上を図る

子どもの問題解決や試行錯誤、学び合う過程を温かく見守り適切な支援を行い、子どもの主体性や問題解決への意欲などの向上を図る

(3) 教育環境の整備について（「ちょっとした潤い」「ちょっとした思いやり」掲示に）

心が潤う緑いっぱい運動・あいさつ運動を推進する

心が潤い、自分自身の成長がわかる校内・学級掲示の充実を図る

心が潤う清掃活動の充実を図る 心が潤う図書室の整備充実を図る

(4) 教育予算の執行について（「より必要なものからかう」予算執行に）

教育活動充実のため、コスト意識を高めるとともに、年間を通して予算配分の執行計画を検討する

旅費や職員研修、図書購入などの予算を確保し、教育活動への一層の還元を図る

(5) 子どもの安全確保等について（「より必要なことから」「できることからかえる」安全システムに）

子どもの安全確保のため、体制を広げ・強化する

子どもの安全確保のため、安全教育・職員研修の充実を図る

(6) 保護者や地域社会との連携について（「より信頼関係がもてる」「より学校参加のできる」連携に）

学校の思いや願いを伝えるとともに、保護者や地域住民の思いを一層把握し、できること・必要なことから教育活動に反映させていく

教育効果を上げるため、保護者や地域住民の教育活動への参加・協力を推進する